## 八キロカヌーで川下り

横芝中3年　齊藤　雅子

沖縄研修の二日目に私は西表島の浦内川という所をカヌーで下りました。浦内川はあまり海との高低差がないため、海水と淡水が混ざり合っている不思議な所だそうです。そのため、川の西側にマングローブの森が広がり、川と海の魚がいるそうです。そんな場所をカヌーで下りました。川にはマングローブだけでなく、根が板状のサキシマスオウの木や珍しいツツジのセイシカなどが川を取り囲むように山のように起伏をつけて広がっていました。その景色は壮観で、カヌーでユラユラと浮かんでいると溶けていきそうなくらい、雄大でした。何キロか下った所で川辺に上がり林を散策しました。そこには、無数のシャコが作った蟻塚のような巣や、リュウキュウイノシシが掘った穴、こぶしよりも大きいシジミがいました。また、もう一ヶ所散策した所には、何か小さな生き物が地面にうごめいていました。人間が来るとパッと穴にもぐってしまうので、すばやく走っていって観察しました。そこにはあわてて土にもぐるミナミコメツキガニというカニがいました。その姿は大豆より少し大きく丸いです。そしてそのカニたちのあたり一面に小さな泥だんごが落ちていました。土の中の栄養を食べて、丸めておくそうです。私はとても沢山のカニが生きていけるほど豊かな自然に感動しました。そして、八キロを下り終わりました。終わった後、私はこんなにすばらしい自然は残さなくてはいけないという事を考えました。そして一日目の夜に西表島の話をして下さった藤縄先生の言葉を思い出しました。「西表の自然を守るために身近な自然を守ってほしい」という言葉です。私は、西表島の自然のすばらしさを忘れずに身近な自然を守って生きたいと思います。

▲８㎞をカヌーで川下り

## 県外研修を終えて

大総小5年　佐久間　梓

3月もあと少し。小学校の最高学年同ようの立場になった卒業式後、町の児童・生徒県外研修の研修生として、沖縄へ行ってきました。メインイベントは、グラスボート、カヌーなど、数週間前から事前研修を重ね、ずっと楽しみにしてとうとうやってきた当日。飛行機の中から見た海は、横芝とは大ちがい。本物のブルーでした。飛行機から降りると暑いというより生ぬるい、そんな感じでした。グラスボートに乗るために行った海もこれまたビックリ。飛行機で見ると青いけど、すごくとう明でした。どっちも、とにかくきれいでした。グラスボートは、ものすごく大きいサンゴやニモことかくれクマノミも見れました。その後昼食をとりました。メニューは、八重山そば。食後には、ハブ館にも行きました。みんなへビを首にまいていたけど、私は、恐くてまけませんでした。その後、また川平わんで水遊びをしました。そして「海人の家」にとう着。みんな家族や自分あてに手紙を書きました。そして二日目は、うらうち川でカヌーにのりました。カヌーは、私の新聞担当場所でもありました。みんな説明を受けてからゆうらん船で案内を受けながら八キロ上流に上りました。その後、森の中を歩き、昼食のお弁当を食べカヌーで出発しました。途中何回か上陸して、マングローブのたねをひろったり、山を探検したりしました。その後、飛行機が悪天候で乗れなくなりちがう便で少しおそく帰ることになったけど、みんなと長くいられて少しうれしかったです。

今回の沖縄での研修のけいけんを、これからの学校生活にいかしていきたいと思います。

※（学年は、平成16年度の学年）

▲グラスボートで海中風景を満喫